

リノベーション事例シート(E案)

<b>■After</b> 建築名称 下段:英語名	<b>海老原商店</b> EBIHARA SHOTEN		
建築用途	大分類 集会施設	小分類 展示場、イベント会場	
改修設計者	0	<a href="#">URL</a>	
所在地	東京都千代田区神田須田町2-13-5	<a href="#">Google Map</a>	
改修年	0	撮影者 提供者 桐原武志 2017年撮影	
建築規模	0		概要 Aftre 生地間屋廃業のあと看板建築を活かした展示会場、イベント会場に改修
関連事項	千代田区景観まちづくり重要物件		
<b>■Before</b> 建築名称	<b>海老原商店</b>		概要 Befor 0
建築用途	大分類 商業施設	小分類 生地間屋	
<b>■写真</b> Before リノベーション前、店の入口にシャッター	写真-3 After シャッターが取り外され木製格子扉に	写真-4 After 2階の居室。手前手摺の部分が吹抜け	
			
撮影 提供者 海老原義也氏 提供	撮影 提供者 桐原武志 2017年撮影	撮影 提供者 桐原武志 2022年撮影	
<b>■リノベーション内容</b>	キーワード 用途変更、大規模改修、外観保存、耐震、アート	内容 海老原商店について <海老原商店Websiteより>古着屋として明治20年に創業し、既製服や反物など時代に合わせた商品を扱いながら営業を続けてきました。現在の海老原商店の建物が建築されたのは1928年。当時の店主・海老原保蔵と、親交のあった画家との二人三脚で、何度も試行錯誤を繰り返しながら、看板建築様式を採用したファサードのデザインが制作されました。海老原商店は、看板建築の中でも和洋を取り入れたファサードやガラス等のデザイン、商店と居住スペースをバランスよく配置した間取り、天窗から吹抜けの空間を通して光を取込む設計等、看板建築を代表する要素が数多く採用されています。また、当時の設計図面や営業の記録が残されており、	
<b>■備考</b>	0		
<b>■作成者</b> 氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		管理者 記載